

平成25年度事務事業評価調査

整理番号	21	枝番	3
評価担当課	都市整備課管理係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	公園のリニューアル			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	9	都市環境の整備
		基本事業	3	公園の維持・管理
		実施計画事業	1	公園の維持・管理

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	都市公園の整備、既存公園の長寿命化を推進し、安全で快適な都市環境の形成を目指す。					
対象(何を又は誰を)	市民、公園利用者					
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	公園長寿命化計画に基づき整備工事を実施する。事業費の1/2が国から補助される。					
意図(どのような成果を期待しているか)	公園施設の安全・安心な利用と公園施設の長寿命化					
事業実施主体	名寄市					
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等	請負	その他()
事業実施期間	始期	23 年度	終期設定	有 (終期	32 年度)	・ 無
根拠法令・条例等	都市公園法等					

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位					目標年度 (年度)
			H22	H23	H24	H25見込	
活動指標	1	リニューアル事業計画公園数	箇所	目標	2	3	2
		実際に事業を行った公園数		実績	2	3	2
	2		目標				
			実績				
	3		目標				
			実績				
成果指標	1	リニューアル事業計画公園数	箇所	目標	2	3	2
		実際に事業を行った公園数		実績	2	3	2
	2		目標				
			実績				

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H22決算	H23決算	H24決算	H25予算	平成24年度の事業費内訳
事業費		29,977	29,915	20,000	サンピラーパーク駐車場整備工事 10,847
国道支出金		14,988	14,957	10,000	浅江島公園石垣更新工事 6,951
地方債					浅江島公園遊具更新工事 9,817
その他					大学公園遊具更新工事 2,079
一般財源		14,989	14,958	10,000	公園遊具物価調査委託業務 221
人件費		2,673	2,652	2,652	
平均給与額		6,683	6,629	6,629	
担当職員数		0.40	0.40	0.40	
総事業費		32,650	32,567	22,652	
対前年比(%)	—		100	70	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	14,988	9,971	10,000	事業費/リニューアル公園数
	活動指標2				
	活動指標3				

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	公園施設の老朽化が進んでおり、遊具や公園施設のリニューアルは益々重要となっている。
改善点	指摘事項 <input checked="" type="radio"/> 有 (<input type="radio"/> 無)

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性	a	公園の老朽化が進んでおり、市民のニーズは高い。
市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？		
有効性	a	市の財政状況からすると、国の補助がえられる公園長寿命化事業に基づいた、公園のリニューアルは有効といえる。
目的を達成するための方法として有効か？		
効率性	a	遊具施設や公園施設の更新により公園景観や安全性の向上が図られ、安全、安心な公園の環境づくりが進んでいる。コストについては、工事のため、工事単価や材料単価が決まられており遊具についてもメーカー価格が決まっており、コストの削減は難しい。
経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？		
公平性	a	市民全体が受益者であり、偏りはない。
受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？		
達成度	a	達成されている。
活動指標、成果指標の達成度は？		

5 1次評価

評価結果	理由	
A	公園長寿命化計画に基づくものであり、都市公園の老朽化が進行しているため現状のまま継続することが望ましい。	
A: 現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B: 進め方を改善		
C: 規模・内容を見直し		
D: 抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

7 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	今後も公園長寿命化計画に基づく事業の推進が必要。